

バグダッド 日 誌 (1月6日)

○ サマーワ訪問

- ・ コアリション作戦部長 (伊空軍) のサマーワ訪問に同行した。昨年から何度も計画したが、選挙等の影響から、この時期にずれ込んだ。准将は日本隊を訪問できたことを本当に喜んでおられた。
- ・ 私も同行させていただいたおかげで、米空軍機C-12や英海軍ヘリシーキングに乗ることができた。また、これまで行けなかったタリルやスミッティにもわずかな時間ではあったが立ち寄り、准将への説明を側で聞かせていただいた。我々もバグダッドの米軍キャンプから外に出る機会は滅多になく、今回の同行は良い経験になった。
- ・ 私などが言うのはおこがましいことと思うが、今回准将に同行して、サマーワ訪問が各国の軍人になぜ人気が高いのかがよくわかった。フリーフィングの見やすさ、訪問者への接遇がこの上なく洗練されていること等、宿営地内で訪問者がいかに快適に過ごせるかを身をもって経験させていただいた。私自身が「来て良かった。」「もう一度来たい。」と感じた。それ以上に准将以下同行した米国人、豪州人達は感じたことと思う。
- ・ 当地に戻り、事務所に入るなり、准将は今回同行できなかった他のスタッフに「サマーワは本当に楽しかった。」「ジャパニーズ・ゲイシャ」と写真を撮った！」と楽しそうに話していた。同行したスタッフも「日本には我々にはない伝統文化がたくさんあっていいね。」と上機嫌で話していた。
- ・ 各国の接遇やフリーフィングがどのようなものかよく分かっていないが、他国と比べるのではなく、来客をもてなす上での日本人の気配りの細やかさは日本人の私から見ても素晴らしいと感じた。
- ・ 同行したスタッフばかりではなく、同行できなかったスタッフ達も「次はいつ?」「今度は(も)是非行きたい。」と私に言ってくれた。日本人として、「大いばり」で事務所に帰ってこれたことを関係各位に感謝したいと思います。
- ・ 多忙な日常で機嫌の悪かった各国将官が、「サマーワを訪問すると機嫌が良くなる」と言う話をする将官の副官から聞いた。まさにその通りだった。彼らも後任者に「サマーワのすばらしさ」を申し送ることと思う。

○ 餅食う人々...

- ・ コアリションの人たちに「餅」を食べさせた。沖縄から来た米海兵少佐とモンゴル大佐は以前にも食べたことがあるらしいが、他は初めてとのことであった。「なんじゃこりゃ? ガムか?」「魚か?」(かまぼこをイメージしているらしい)、見ただけで「俺、今腹一杯」と断る者、いくつか食べて「もう屋飯はいらない」と言う者等々反応は様々だった。概して、さほど抵抗なく食べていた。准将も気に入ったようで、昨日のことも含めて「日本はありがたい」と言ってくれた。
- ・ 彼らと過ごせる時間も少なくなった。これまでの日誌ネタ提供への感謝を含め、残りの時間を有意義に過ごしたい。



バスラLO日々業務報告(1月6日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 (警戒態勢) :
2 特記事項	(1) (2)
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : (3) 定例会議への出席 : 司令部朝会議・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 空路輸送調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整
5 その他(備考)	